

## 令和5年度 第4回 都市環境デザイン委員会議事概要

日時：令和6年2月27日（火）10：00～

場所：帯広市役所10階第6会議室

### 【出席委員】

赤嶺委員長、府川副委員長、青木委員、大宮委員、数田委員、和田委員

### 【事務局】

中島都市計画係長、三浦主任補、岡田係員

### 【傍聴者等】

なし

### 【議事概要】

#### 1 開会

「帯広市都市環境デザイン委員会設置要綱第6条第2項」に基づき、半数以上の委員が出席していることから、会議が成立することを確認した。

#### 2 委員長挨拶

#### 3 議事

##### 報告事項（1）第18回帯広市まちづくりデザイン賞 表彰式について

事務局より、今年度のまちづくりデザイン賞の表彰式について報告。

委員からの意見・質疑等はなし。

##### 報告事項（2）令和5年度都市景観形成主要建築物等の報告について

事務局より、都市景観形成主要建築物等について説明。

青木委員より、今年度の対象案件「新キリン舎」の協議結果について報告。

委員からの意見・質疑等はなし。

##### 協議事項（1）第19回帯広市まちづくりデザイン賞に向けて

事務局より、来年度のまちづくりデザイン賞に向けて改善点があれば伺いたい旨説明。

委員からの主な意見・質疑等は次のとおり。

（委員）

応募用紙と建築物の写真以外に、周辺の状況が分かるような航空写真や地図のようなものがあるとよい。

景観という観点で評価を行うため、どういう立地の中に建っている建物なのかを事前に把握したうえで現地を見に行けたらよいと思う。

（委員）

一般の人が道路などから建物を見たときに、外から見える部分がどこなのか、わかると良いと思うので、建物の周辺も写った引きの写真が欲しい。

(委員)

動画も添付があれば参考になると思う。

(委員)

建物に寄って撮影した写真、周辺がわかるように引いて撮影した写真、というように、何パターンかこういう写真が欲しいという説明をつけても良いと思う。

また、建物のみではなく、建物を含めた景観を評価するというのもっとアピールすると良いのでは。

(委員)

こういった視点で評価するためこの資料が必要、といった意図が伝わるような表現方法を整理する必要がある。

(委員)

応募の際は書類を持参するかメールで送付する方法となっているが、インターネット上に応募フォームがあると写真や動画のアップロードがしやすく、応募しやすくなると思うので検討いただきたい。

(委員)

今年度の現地視察の際は風が強く、応募者の説明が聞き取りにくいところがあった。天候次第では、建物の説明を聞く時だけでも建物の中に入れていただくといった方法をとってみても良いと思う。

(委員)

応募書類の内容を充実させ事前の情報がある程度揃っていれば、現地で見たいポイントが絞り込めると思うので、現地視察では天候が悪くても最低限の確認だけで済むのでは。

(委員)

応募は建物の所有者による自薦と、設計者など建物に関わった人による他薦があるが、それとは別枠で一般の人が推薦するという応募の方法があっても面白いと思う。

(委員)

SNSなどで広く呼びかけ、一般の方でも推薦応募しやすい仕組みがあると、より応募の幅が広がる可能性もあるのでは。

(委員)

一般からの他薦は特典がないとなかなか参加は見込めないのでは。応募件数を増やしたいのであれば、商品券などを贈呈するといったことも一つの手段としてはありなのではと思う。

(委員)

賞の選考について、現地視察と審査を同日に行っているのでは、視察に欠席すると審査も参加できない。

日程を分けて現地視察を実施したり、視察の内容を後日共有するなど、できるだけ多くの委員が審査に参加できるような仕組みがあると良い。

(事務局)

本日頂いた意見は、来年度以降のまちづくりデザイン賞開催に向けて検討していく。

**その他（１）令和６年度帯広市都市環境デザイン委員会の予定について**

事務局より、来年度の委員会の予定について説明。

委員からの意見・質疑等はなし。

#### 4 閉会

以 上